

令和元年度

私たちの税金
どう使ったの？

決算審査



細かくチェック
しました！



決算特別委員会

令和元年度決算については、決算特別委員会で審査し各委員から数多くの質疑がありました。その中の主なものを紹介します。

経常収支比率

Q 経常収支比率が低下(改善)した要因は。

A 町税や各種交付金収入等により経常経費の増加以上に経常的な収入の増加があったため、比率が低下(改善)した。

行政情報発信事業

Q 町はFMたまむらと災害時の協定を結んでいるが、どのような取組をしたのか。

A 昨年の台風19号の際は、自主避難所開設情報のお知らせのほか、台風接近を受け、緊急避難所や避難勧告情報を約15分間隔で緊急放送していただいた。放送はスマートフォンからラヂオなみのホームページにアクセスして視聴することもでき、そのアクセス数は通常月3200件ほどだが、昨年9月は3600件、10月は4000件ほどあり、かなりの方に聴いていただいたと感じている。

住民活動サポートセンター「ほの」

Q 住民活動団体の活動をサポートするために委託しているとのことだが、どのようなサポート業務を行ったのか。

A 役場とは別の組織の立場から、町内企業、住民、住民団体間における連携の橋渡し等を行った。

中小企業退職金共済制度加入促進事業

Q この事業の内容と実績は。

A 町内事業所で中小企業退職金共済に新規加入者がいる事業所に対して町から補助金を支給する事業で、41事業所(105名分)に対し、1人500円/月を補助した。

畜産ヘルパー利用料助成事業

Q 年間どの程度の利用があったか。また、ヘルパーはどこに委託しているのか。

A 酪農を営む4農家で72回の利用があった。ヘルパー1人当たり1万5000円、1万6000円ほどかかるため、町が半額を補助している。ヘルパーは各ヘルパー組合から派遣されている。

小規模農村整備事業

Q 令和元年度に実施した事業の内容は。

A 川井地区については、沿道の田面高と路面高がほぼ同じであることから水田に用水が十分に行き渡らない状況があり、水路改修を行うための測量設計を行った。上之手地区については、2か年かけて老朽化した水路の改修工事を実施し、令和元年度で工事完了となった。